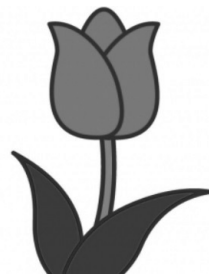


# 農業



令和2年4月号  
会誌 No. 1663

## 目次

### 巻頭言

グローバル時代，姿のみえない敵へ……………高野 克己 3

### 論 壇

ささら型とたこつぼ型……………難波 成任 4

### 大豆単収向上研究会

第3回大豆単収の向上に関する研究会…………… 6

－主な生産県における単収向上の課題－

話題提供

1. 富山県……………高橋 渉 6

2. 三重県……………高橋 武志 13

3. 佐賀県……………永渕 和浩 20

総合討議…………… 26

### 農業懇話会

花の消費・流通・生産の変遷と令和新時代への対応……………宇田 明 29

### 研究の最前線

北海道における子実用トウモロコシの食材化研究と

その製品開発……………柳原 哲司 49

農業・農村の現場から

ICT を活用したブドウ栽培による産地振興 ……平口 嘉典 60  
－山梨県韮崎市・株式会社クピドファームの取り組み－

世界の農業は今

モザンビークの小規模酪農 ……中本 和夫 64

私の経営と志

新規就農し「地球にやさしい農業」を目指す ……塚本 夏子 70

表彰

令和元年度大日本農会賞の受賞者 …… 72  
付：大日本農会と東京農業大学の関係

統計情報

令和元年産春植えバレイショの作付面積、収穫量及び出荷量 …… 76

農政情報

大日本農会だより …… 78

ミニ情報

平成30年花きの産出額（全国） …… 48

表紙写真説明

『ハウスみかん』のトップバター（大分県佐伯市）

大分県は全国で第3位の生産量を誇る『ハウスみかん』の産地です。年間生産量は約800トンで、近年は微減傾向にあります。

主な産地は温暖な気候・風土に恵まれた杵築市や国東半島沿岸部、津久見市、佐伯市などで、ハウス内では温度や水分をこまめにコントロールしながら栽培されます。特に水分の調整は味を大きく左右する重要な作業の一つです。

例年、全国のトップを切って4月上旬から出荷が始まり、9月末頃まで続きます。

出荷のピークは7月から8月で、お中元の贈答用として人気があり、県内をはじめ関東・九州地方などに出荷されています。

（写真提供：九州農政局企画調整室，文：編集部）